

箱崎に残る全ての近代建築物群が国の登録有形文化財に
～旧九州帝国大学正門及び塀が登録内定～

九州大学箱崎サテライト（旧箱崎キャンパス）の「旧九州帝国大学正門及び塀」が、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」として、国の有形文化財（建造物）に登録されることとなりました。令和5年2月に登録された4棟の建物群と併せて、箱崎サテライトに残存する全ての建造物が、国の登録有形文化財に登録されることとなります。

登録対象の正門は、九州大学に残存する最古の建造物で、大正3年に門衛所と併せて建造されました。現在の場所に移築されて以降、同じ場所で、長年大学のシンボリック的存在として親しまれてきました。今後は、大学のかつての“顔”としてだけでなく、箱崎地区の新たな街の玄関となることを期待しています。

九州大学では「箱崎サテライト」※を学内外に開かれた新たな学びの拠点として、活用していくこととしております。今回の発表も踏まえ、箱崎サテライトをより魅力ある場所としていけるよう、ふさわしい活用方法を検討してまいりますので、皆様には一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



旧九州帝国大学正門及び塀

令和5年2月登録済の建築物4棟



旧九州帝国大学
工学部本館



旧九州帝国大学
本部事務室棟



旧九州帝国大学
本部建築課棟



旧九州帝国大学
門衛所

※「箱崎サテライト」を学内外のより多くの皆様に、様々な用途で快適かつ安全にご活用いただけるよう、九州大学では、「近代建築物の保存活用プロジェクト ～箱崎サテライト旧工学部本館改修支援事業～」を展開し、寄附を募集しています。詳細は、支援事業 HP (URL: <https://kikin.kyushu-u.ac.jp/>) をご覧ください。

箱崎サテライト 旧九州帝国大学正門及び塀

(令和6年3月 国登録有形文化財に登録内定)

旧九州帝国大学工学部本館

旧九州帝国大学本部建築課棟
旧九州帝国大学門衛所

旧九州帝国大学正門及び塀

旧九州帝国大学本部事務室棟



旧九州帝国大学正門及び塀 (九州大学正門)

建設：1914年（大正3年）
構造：（門柱）煉瓦（間口4.5m）
（塀）コンクリートブロック
及び煉瓦
規模：総延長41m
設計：倉田 謙の可能性が高い
施工：鴻池組

九州大学に残存する最古の建造物で、大正13年にキャンパス用地の拡大に伴い、門衛所と共に現在地に移築された。石材と赤煉瓦の組み合わせや門柱頂部の花崗岩の笠木など古典主義の影響を色濃く受けており、その意匠性は非常に高い。



▼ 登録有形文化財登録済（令和5年2月）近代建築物一覧



旧九州帝国大学本部事務室棟 (九州大学本部第一庁舎)

建設：1925年（大正14年）
規模：地上2階 塔屋付
構造：煉瓦
設計：倉田 謙
施工：佐伯工務所（現 佐伯建設）



旧九州帝国大学工学部本館 (九州大学 旧工学部本館)

建設：1930年（昭和5年）
規模：地上3階 地下1階 塔屋付
構造：鉄筋コンクリート
一部鉄骨鉄筋コンクリート
設計：倉田 謙、小原 節三
施工：清水組（現 清水建設）



旧九州帝国大学本部建築課棟 (九州大学本部第三庁舎)

建設：1925年（大正14年）
規模：地上2階 地下1階 塔屋付
構造：煉瓦
設計：倉田 謙
施工：佐伯工務所（現 佐伯建設）



旧九州帝国大学門衛所 (九州大学正門門衛所)

建設：1914年（大正3年）
規模：地上1階
構造：煉瓦
設計：倉田 謙
施工：鴻池組

※建物名の（ ）内は建物の通称名を示す